



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2018年7・8月
第323号

病院だより第323号 (2018年7・8月号)
発行者 昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
発行責任者 藤が丘病院長 高橋 寛
編集責任者 広報委員長 原田 浩史
〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30
Tel 045-971-1151

消化器・一般外科着任のご挨拶

藤が丘病院消化器・一般外科 教授 田中 邦哉

このたび藤が丘病院消化器・一般外科診療科長を拝命致しました田中邦哉です。私は、帝京大学ちば総合医療センターでの約3年半の勤務を除き、研修医時代より一貫して横浜市立大学関連施設で研鑽を積んでまいりましたが、このたび縁あって藤が丘病院でお世話になることとなりました。かねてより肝胆膵疾患の外科治療を専門とし、肝臓外科とくに原発性・転移性肝癌の高難度手術による治療を得意としております。巨大腫瘍に対する胸骨切開の追加による心臓から腹部の連続切開による腫瘍切除や、下大静脈浸潤を伴う腫瘍に対する血管置換を伴う腫瘍切除、あるいは多発肝腫瘍に対する計画的二期的切除や ALPPS 手術など高難度・最先端手術に取り組み、一方で低侵襲手術としての腹腔鏡手術も積極的に取り組んでまいりました。



藤が丘病院 消化器・一般外科ではこれまでに消化管手術あるいはヘルニアなど一般外科手術の高い実績があることから、今後はこれらの実績を低下させることなく、これに加えて肝胆膵疾患の外科治療実績を積み上げてまいりたいと思います。

今までは金沢区から保土ヶ谷区あたりまでを私個人の生活拠点としていたため、青葉・都筑・緑・港北附近には近寄りたがたいものを感じておりましたが、やっと横浜北部地区に足を踏み入れることができました。南部地区との生活環境の違いも楽しみながら、全力を尽くして診療を行なってまいりたいと考えております。宜しくご協力の程お願い申し上げます。

知って得する予防セミナーのご案内

看護部予防セミナー担当 看護部次長 松木恵里

現在の平均寿命は男性 80.98 歳、女性 87.14 歳ですが、健康寿命は男性 72.14 歳、女性 74.79 歳と、平均寿命と健康寿命の差が大きいという現状がありますが、できるだけ健康な状態を持続するためには、健康寿命を平均寿命に近づける必要があります。

そこで、健康な状態を持続し、健康寿命の増進を図る手助けができればと、当院の認定看護師の専門性を生かして、日常生活の中で予防できるワンポイントアドバイスを取り入れた「知って得する予防セミナー」を2017年9月より開催しています。



「知って得する予防セミナー」は、当院の認定看護師が交代で講師を務め、1回 20 分程度で行っています。テーマは脳卒中・心不全・糖尿病・認知症を予防するための工夫や、摂食嚥下障害に伴う肺炎予防などです。さらには、時期を考慮し、食中毒・熱中症予防も取り上げています。

日時、場所、内容は病院のホームページ、院内掲示板に掲載しております。外来患者さん、入院中の患者さん、面会の方、地域住民の方など、多くの方のご参加をお待ちしております。



呼吸器内科を身近に

昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科

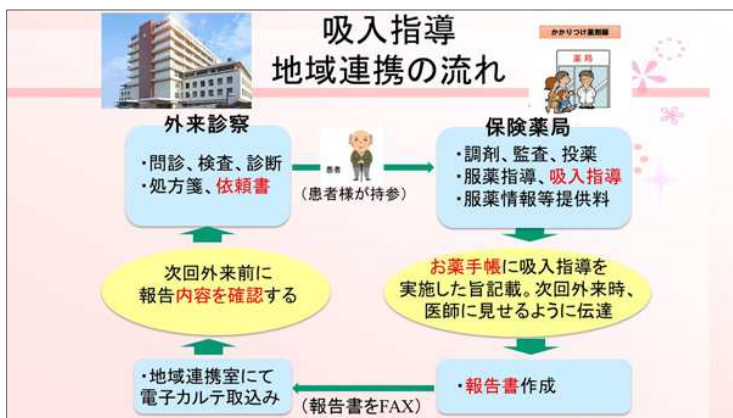
呼吸器内科は、間質性肺炎や慢性閉塞性肺疾患（COPD）といった慢性進行性の呼吸不全を来す疾患や、アレルギー疾患である気管支喘息、また、肺炎・非結核性抗酸菌症などの感染症、さらに近年増加の一途をたどる肺癌のほか、閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）の診療を行っています。

診療体制

診療科長の鹿間裕介教授以下、合計11名が藤が丘病院とリハビリテーション病院の外来および入院診療を担当しています。日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会の認定施設であり、日本内科学会総合内科専門医2名、日本呼吸器学会専門医4名を含むスタッフが、研修医・専攻医の教育・指導を行っています。

特徴的な治療領域

気管支喘息や COPD では吸入療法が主になりますが、吸入指導が大変重要です。今までは薬局で一般的な吸入指導をしていましたが、最近では周囲の薬局と連携し、医師から薬剤師へ患者の病状や重症度を伝え、次回の外来までに薬局から病院に吸入指導の内容が返信されてくる吸入指導連携を行っています。



重症の難治性気管支喘息患者には分子標的治療薬であるオマリズマブ、メポリズマブ、ベンラズマブの治療を行っているほか、特発性肺線維症には抗線維化薬であるピルフェニドン、ニンテダニブを積極的に導入しています。

睡眠中のいびきや無呼吸を伴うOSAは、入院にてポリソムノグラフィー（PSG）を行い、中等症以上にはCPAP治療、それより軽症には歯科にて口腔内装具（Oral appliance）の作製を行っています。

また近年、肺癌の分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬が数多く開発されており、治療方針については腫瘍内科、呼吸器外科、放射線科からなるカンサーボードで決定し、各科で協力して個々の患者さんに最適な治療を行っています。

以上のように、急性期から慢性期まで、他科やリハビリテーション病院とも連携して診療にあたっています。

（藤が丘病院呼吸器内科 横江 琢也）

こどもセンター セタ祭り！！

7月6日（金）午後、藤が丘病院にて「こどもセンターセタ祭り」を開催しました。今回は「入院中の子ども達が楽しく遊べるよう、また、ご家族の方々の交流の場になれるようなイベントがしたい」という思いで開催しました。当日は20名ほどの子ども達と、そのご家族の方に参加していただきました。

催し物はセタの合唱、幼児から楽しめる折り紙で作った金魚すくいや釣り、子ども達の個性が光るうちわ作り、的あてなどでした。的あてではいろんな所に飛ばしながらも一生懸命に頑張っていて、それを他の子ども達やご家族、スタッフみんなで応援し、会場は大いにぎわいました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！



（藤が丘病院こどもセンター 看護師 町田 翔一）

セタを過ぎて

セタを迎えるにあたり、今年も藤が丘病院・リハビリテーション病院ともに笹飾りを設置いたしました。職員や患者さんから様々な思いが込められた短冊を飾っていただき、賑やかな笹飾りになりました。ささやかな願い事や、病院ならではの願い事など



様々な思いが込められている短冊が見受けられました。綴られた思いを見ていると、万感の思いがいたします。私も皆様の願い事が叶い、健やかな日々が送れますように、ささやかながら祈っております。

(藤が丘病院 管理課 山田大暉)

第27回 藤が丘地域連携フォーラム

平成30年7月12日(木)、藤が丘病院にて第27回藤が丘地域連携フォーラムを開催いたしました。平成23年9月から始まった藤が丘地域連携フォーラムも今回で27回目を迎え、地域医療機関の先生方や関係者の皆様55施設81名、昭和大学藤が丘病院関係者113名の合計194名の方々にご参加いただきました。



当日は下記の2演題の講演が行われ、活発な質疑がなされました。

＝第27回藤が丘地域連携フォーラム講演会＝

1. 前立腺癌の診断と治療

藤が丘病院 泌尿器科 佐々木 春明

2. 患者さんよりよい関係を築くために ～安全管理の視点から～

藤が丘病院 クオリティマネジメント課

医療安全管理室 小池 あつ子

講演会後の懇親会では各診療科のパネル展示を前に賑やかに意見交換が行われていました。

なお、次回の地域連携フォーラムは、平成30年10月11日(木)に開催を予定しております。多数のご参加を心よりお待ちしております。

(藤が丘病院医療経営戦略課 馬杉 朗子)

平成30年度第1回公開講座

平成30年7月28日(土)午後、藤が丘病院C棟講堂にて平成30年度第1回藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院公開講座が開催されました。当日は台風の接近による悪天候にもかかわらず89名の方が受講されました。

今回は『知っていますか、腎臓病? —今からでも

できる腎臓

ケア』を

テーマに、

「小さな腎

臓が命を支

える」(藤が

丘病院腎臓内科小岩文彦教授)、「知ろう、腎臓病」

(井上嘉彦准教授)、「守ろう、腎臓」(水上礼助教)、

「食生活を見直す腎臓ケア —実践しよう、見て・聞いて」(藤が丘病院栄養科玉木大輔管理栄養士)の4

題の講演が行われました。

藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院では、今

後も地域の方々の意向を反映し、誰でも気軽に参加で

きる公開講座を開催していきます。

なお、次回は、来年3月9日に「白内障」と「内視鏡」

をテーマに開催する予定です。

(藤が丘病院管理課 高橋 良治)



大規模地震時医療活動訓練

平成30年8月4日(土)、内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練が行われ、昭和大学藤が丘病院DMAT(医師1名、看護師2名、業務調整員3名)も参加しました。

8月3日午前11時に高知県内等で最大震度7を観測する南海トラフ地震が発生したとの想定のもと、発災翌日に香川



県の高松空港に参集した後、高知大学医学部附属病院をDMAT活動拠点本部として訓練を行いました。活動拠点本部の指示のもと、高知県内にある2か所の病院に赴き、病院支援を行いました。DMATの組織活動および情報伝達の精度向上につながったとともに、災害に対する危機意識が一層高まったと感じています。

(藤が丘病院管理課 小泉 春樹)

5年目のボランティア リハビリ病院中階段壁画

今年もリハビリテーション病院夏の行事が始まりました。今年で5年目となる橘学苑高等学校(横浜市鶴見区)のデザイン美術コースの生徒26名によるボランティア活動壁画制作です。

今回は1階～地下1階がキャンバスです。例年高校で厳選された数点の中から病院職員の投票により図柄が決まります。今年選ばれたのは「Lumiere(リュミエール)」。



フランス語で「光」を意味します。製作期間は8日間。限られた時間の中で、1年生(15名)、2年生(7名)、3年生(4名)がチームとして制作しました。

下書きせずに直接壁にペイントします。街の朝日、田舎の朝日、南国の夕日、北極のオーロラ、海に反射する光など、様々な「光」に彩られた地下階段は一見の価値あり！本当に明るくなったように見えるから不思議です。ぜひ皆さん、足を運んでみてください。



(リハビリテーション病院管理課 鵜飼 直紀)

藤が丘盆踊り大会

今年も7月14日(土)に藤が丘第三公園にて藤が丘二丁目自治会夏祭り盆踊り大会が、8月4日(土)には藤が丘駅前公園にて藤が丘一丁目町内会盆踊り大会がそれぞれ開催されました。藤が丘病院・リハビリ病院の職員も参加させていただきました。町内会の方々はわれわれを温かく迎え入れてくださり、地域の輪に加わり一体となって盆踊りを楽しむことができました。地域の人々の活気と熱気に触れることができ、藤が丘という町の良さを感じる良い機会になりました。

参加された方々も、平成最後の夏、とても記憶に残る夏の思い出を作ることができたのではないのでしょうか。



(藤が丘病院管理課 山田 大暉)

診療統計 2018年6月・7月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2018年6月	2018年7月	2018年6月	2018年7月
外来患者数	29,528人 (1,135.7人)	29,196人 (1167.8人)	4,205人 (161.7人)	4,447人 (177.9人)
入院患者数	16,447人 (548.2人)	16,492人 (532.0人)	5,232人 (174.4人)	5,263人 (169.8人)
紹介率	80.7%	83.0%	66.7%	62.3%
逆紹介率	60.2%	69.9%	65.3%	79.3%

《広報委員会委員》

原田 浩史 池田 裕一 佐々木 春明 市川 度 小岩 文彦 川手 信行
 出川 美幸 角田 博子 佐藤 由紀 岩城 馨 長沼 美代子 下田 遥菜
 岡部 圭吾 大塚 凌 和田 洋一 (順不同)